

活動報告

- 防災の出前講座を開催しました
- 猪名川視察会を行いました

お知らせ

- 第9弾 猪名川のい～な！作品展のお知らせ

数珠つなぎインタビュー 「池田・人と自然の会」



防災の出前講座を行いました

9月7日、池田市立池田小学校にて実施

池田市立池田小学校の防災の出前講座で、志築レンジャーが講師をつとめました。4年生の児童約160人が対象ということで、人数が多いので2回に分けて実施しました。

まずは、大雨のときの洪水や土砂災害の危険性について、志築レンジャーが図や動画を用いながら説明しました。児童のみなさんはとても熱心で、志築レンジャーが質問をしたりクイズを出したりすると、たくさん手が挙がり、積極的に発言していました。実際の越水や地滑り、がけ崩れ等の様子を記録した動画では、災害の威力に驚きの喚声が上がりました。

グループワークでは、校区の地図を班毎に囲み、自宅や浸水被害が想定される場所を地図に書き入れたり、洪水のときの避難経路を確認したりしました。「自分の家のそばに危険があることがわかった」「大雨のときにどうすべきかわかった」と話す子もおり、水害や土砂災害について知ってもらうことができたようでした。



浸水範囲などを地図に書き込む様子

志築レンジャーの感想

地図上で自分の家を探すことなど楽しく取り組んでくれました。質問に対しても何人も生徒に手を挙げていただき、時間の関係で全ての方に答えてはもらえませんでした。とても活発で積極的に参加していただき嬉しかったです。



志築レンジャーから水害について説明

また、最後に大東協力員から川で遊ぶときの注意点についてもお話ししました。今年はコロナの影響で遠出できない代わりに川遊びする人も多かったです。水難事故は各地で起っています。安全のために気をつけてほしいポイントを説明し、真剣に話を聞いていただきました。



大東協力員から川の安全利用について説明

猪名川視察会を行いました

9月24日、猪名川流域の4箇所を視察

河川レンジャー・協力員と事務局で猪名川の現地を確認する「猪名川視察会」を行いました。

最初に、佐藤レンジャーの案内で、軍行橋付近の湧き水の出る場所を視察しました。とても澄んだ水が流れ、オイカワなどの魚がゆつたりと泳ぐ姿が見られました。また、近くの河川敷では、佐藤レンジャーが夏に行った外来植物アレチウリの駆除の成果を確認しました。

次に、東園田防災拠点の整備予定地を訪問しました。ここは、猪名川下流部が水害に見舞われた際に迅速な対応ができるよう、備蓄倉庫等の建設が進められている場所です。工事現場の担当の方から、整備の概要を説明いただきました。



尼崎市 東園田防災拠点整備予定地の見学

その後、池田市の河川沿いに立ち寄り、ゴミのポイ捨ての状況などを視察しました。不法投棄への対処の必要性と難しさを感じました。

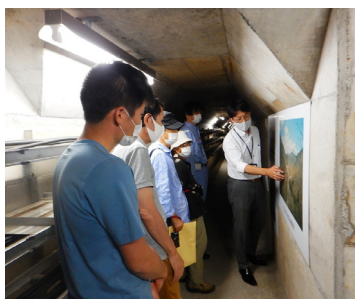
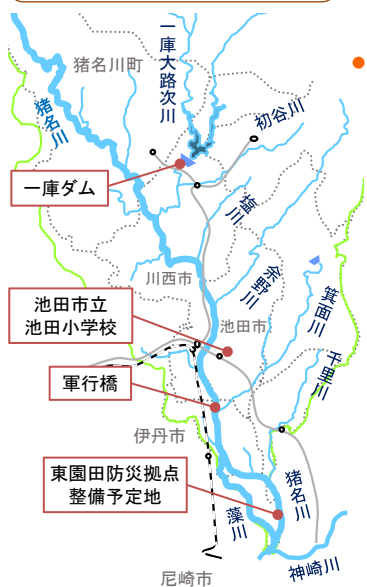
最後は一庫ダムを訪問し、齊藤所長代理に説明いただきながら堤体内を見学しました。猪名川の治水の要となっている一庫ダムの役割について、資料や展示でわかりやすく教えていただきました。ダムの内部はひんやりと涼しく、普段は見ることのない様々な設備があり、とても興味深い体験ができました。



軍行橋付近の透明度の高い湧き水



池田市域の河川沿いの視察



一庫ダム堤体内の見学と説明

第19回数珠つなぎインタビュー

「池田・人と自然の会」

猪名川流域で活躍する団体をリレー形式で紹介しています。今回は池田市で活動する「池田・人と自然の会」の松本清代表に大東レンジャー協力員がお話を伺いました。(8月13日インタビュー)

■どのような活動団体ですか？

池田市とその周辺地域の自然に関する調査・研究や、自然環境の保全事業、市民や研究教育機関への情報提供等を行う団体です。とは言っても、決して堅苦しいものではなく、自然や生き物が好きな人が緩やかにつながり、会報やメールマガリストなどを通じて情報交換する会、というのが実態に近いです。

現在の会員は108名で、ホタル、魚、昆虫、鳥、植物など、興味の対象や得意分野の異なる多様なメンバーが集まっています。ほとんどが池田の人ですが、自由で気楽な集まりなので、市外に転居した後も会に所属し続ける人が多いです。

■発足の経緯を教えてください

会の発足は1999年3月です。都市の近くにありながらもヒメボタル、ゲンジボタル、ヘイケボタルが生息する池田市の貴重な自然を保護したいというグループができたのがきっかけでした。折角なのでホタルに限らず市内の生物全般を観察している人達にも声をかけて「池田・人と自然の会」が発足しました。



大東レンジャー 協力員

■どんな活動をしていますか？

メンバーの得意分野を活かした観察会や調査会を定期的に開催しており、小さな子供から大人まで幅広い年齢層に楽しんでいただいています。子供は中学生くらいで一度生物への興味が薄れることが多いのですが、大人になってから再び関心を持って観察会に来てくれることもあり、嬉しいと思っています。1年配の参加者から昔の池田の自然についての興味深いお話を聞くこともできます。

生物の展示会もよく開催しています。最も人気があるのは生体展示で、市役所で毎年開催している「池田の自然展」では、観察会で捕獲した水生生物などを展示しています。この自然展はもともと当会だけで実施していましたが、最近は市内の他の活動団体にも声をかけて共同で実施しています。また、大阪市立自然史博物館のイベントにも毎年出展しています。今年はいずれもコロナの影響で中止になり残念です。

■池田市の自然環境はどうですか？

五月山や猪名川など貴重な自然が残されており、とても良い環境だと思います。しかし、ホタル類の生息地が宅地開発で減少するなど、環境の変化による生物の衰退も進んでいます。同じ場所のモニタリング調査を長年継続して行い、生物の変化を注視しています。



池田・人と自然の会 松本代表

松本代表の得意分野はアサギマダラとのこと。1000km以上も旅をする蝶で、その生態は未だ解明されていません。

■今後の課題は何かありますか？

会としての課題は後継者の確保です。最近の若い人は忙しく、活動に参加してもらおうのが難しいようです。私としては、まずは自分たちが楽しむこと、若い世代と一緒に自然の中で生き物を観察する楽しさを味わい、伝えることが大切と思っています。

個人の活動では、これまでに蓄積してきたデータを分かりやすいデータベースにして残したいと思っていますが、なかなか大変です。ある程度整理したデータを隔月で発行している会報誌などに報告しながら、少しずつ進めていきたいと思っています。



猪名川水生生物観察会の様子 (池田・人と自然の会 提供。2019.7.21実施)

作品展のお知らせ

第9弾 猪名川のい〜な!

「第9弾 猪名川のい〜な!」にご応募いただいた写真・絵画の作品展を開催します。どの会場も入場無料です。ぜひご来場ください。

Webサイト <http://www.iranger.jp/>

会場	開催期間
イオンモール猪名川 (3階中央エスカレーター前)	11/10(火)～11/16(月)
キセラ川西プラザ (福祉棟2階フリースペース)	11/17(火)～11/23(月)
イオンモール伊丹(1階スカイコート)	11/24(火)～11/27(金)
箕面市メイプルホール(1階ロビー)	12/1(火)～12/6(日)
園田西生涯学習プラザ(1階ロビー)	12/8(火)～12/14(月)
池田市役所(1階ロビー)	12/21(月)～12/25(金)

大東レンジャー協力員の感想

各々の得意分野を持っている会員が義務にかられることなく伸び伸びと観察や調査を行い、博物館等へデータを報告したり、市内の他の活動団体を巻き込みながら観察会・展示会を開催したりと幅を広げておられることは、素晴らしいことです。

今の子供達に話を聞くと、携帯ゲームなどでリアルティの高いものがあるため、わざわざ外に行かなくても様々なものが見られる、と言います。子供や若い人が忙しいこともあり、現地での観察よりもゲーム等に流れていっているようです。会の活動を若い世代へつないでいくという課題は、ヴァーチャル(ゲームなど)を超えるリアル(現地での観察)の面白さを、若い世代にいかにつなげるかがポイントであり、随時開催されている観察会等が解決のきっかけを握ると感じました。

※Webサイトもぜひご覧ください。
【池田・人と自然の会 Webサイト】 <http://hitoshizen.jp/>

猪名川河川レンジャー

Webサイト <http://www.iranger.jp/>
メールアドレス info@iranger.jp

<https://www.facebook.com/InagawaRanger>



Webサイト



facebook



猪名川河川事務所 工務課
池田市上池田2丁目2番39号
TEL:072-751-1111(代表)

新たな
河川レンジャーも
募集中です!

猪名川河川レンジャーに関するお問い合わせは、Web サイトまたはメールアドレスをご利用いただくか、猪名川河川事務所 工務課までご連絡下さい。